

貯蔵品の処理 《決算整理》

- ・貯蔵品とは、購入時は（ ）勘定で処理する郵便ハガキや切手、購入時は（ ）勘定で処理する収入印紙など、金銭価値が高いものが決算において未使用の場合、（ ）として次期へ繰越すために使用する勘定科目である。
- ・つまり、購入時はすべて（ ）として処理を行い、未使用分のみ（ ）に振替えるという処理をしていく。なお、この処理とは逆で、購入時は資産として処理し、使用した分だけ費用に振替える方法もある（ただし3級の範囲対象外）。
- ・また、決算で各種未使用分を貯蔵品勘定に振替えた場合、翌期首に（ ）を行い、次期の費用とする。
- ・ちなみに、各種事務用品（ペンやインク等）の未使用分も貯蔵品（資産）に当てはまるが、（ ）に購入・消費しているものや、金額そのものが（ ）のものは、購入時から費用として処理を行い、決算時に未使用分があってもあえて貯蔵品勘定へ振替える必要はない。



仕訳の練習問題

- ・下記の取引について、仕訳を行いなさい。
1. 84 円切手を 15 枚購入し、代金は現金で支払った。
 2. 200 円の収入印紙を 10 枚購入し、代金は現金で支払った。
 3. 決算において、84 円切手が 5 枚、200 円の収入印紙が 3 枚未使用であることが判明したため適切な勘定科目へ振替える。
 4. 翌期首にあたり、再振替仕訳を行う。
-
1. () ()
 2. () ()
 3. () ()
() ()
 4. () ()
() ()